

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年9月27日聖日礼拝

---

「道連れ～聖餐の心備え」

ルカの福音書23章32節-34節及び

24章13節-31節

河村従彦牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### ルカの福音書23章32節-34節及び 24章13節-31節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp153 ~ / 第三版の聖書はp169 ~

- 32 ほかにふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。
- 33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとは右に、ひとは左に。
- 34 そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。

## 24章

- 13 ちょうどこの日、ふたりの弟子が、エルサレムから十一キロメートル余り離れたエマオという村に行く途中であった。
- 14 そして、ふたりでこのいっさいの出来事について話し合っていた。
- 15 話し合ったり、論じ合ったりしているうちに、イエスご自身が近づいて、彼らとともに道を歩いておられた。
- 16 しかしふたりの目はさえぎられていて、イエスだとはわからなかった。

17 イエスは彼らに言われた。「歩きながらふたりで話し合っているその話は、何のことですか。」すると、ふたりは暗い顔つきになって、立ち止まった。

18 クレオパというほうが答えて言った。「エルサレムにいながら、近ごろそこで起こった事を、あなただけが知らなかったのですか。」

- 19 イエスが、「どんな事ですか」と聞かれると、ふたりは答えた。「ナザレ人イエスのことです。この方は、神とすべての民の前で、行いにもことばにも力のある預言者でした。
- 20 それなのに、私たちの祭司長や指導者たちは、この方を引き渡して、死刑に定め、十字架につけたのです。

- 21 しかし私たちは、この方こそイスラエルを贖ってくださるはずだ、と望みをかけていました。事実、そればかりでなく、その事があってから三日目になりますが、
- 22 また仲間の女たちが私たちを驚かせました。その女たちは朝早く墓に行ってみましたが、
- 23 イエスのからだが見当たらないので、戻って来ました。そして御使いたちの幻を見たが、御使いたちがイエスは生きておられると告げた、と言うのです。

24 それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、はたして女たちの言ったとおりで、イエスさまは見当たらなかった、というのです。」

25 するとイエスは言われた。「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。

26 キリストは、必ず、そのような苦しみを受けて、それから、彼の栄光に入るはずではなかったのですか。」



27 それから、イエスは、モーセおよびすべての預言者から始めて、聖書全体の中で、ご自分について書いてある事からを彼らに説き明かされた。

28 彼らは目的の村に近づいたが、イエスはまだ先へ行きそうなお様子であった。

29 それで、彼らが、「いっしょにお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もおおかた傾きましたから」と言って無理に願ったので、イエスは彼らといっしょに泊まるために中に入られた。

30 彼らとともに食卓に着かれると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。

31 それで、彼らの目が開かれ、イエスだとわかった。するとイエスは、彼らには見えなくなった。

# 説教

## 「道連れ～聖餐の心備え」

ルカの福音書23章32～34節及び  
24章13～31節

河村従彦 牧師



# きょうの記事

## 1 ルカの意図は？

## 2 顕現

空の墓で

墓でマグダラのマリヤへ

エマオの途上

エルサレムでペテロに

屋上の間で10人の弟子に

屋上の間で11人の弟子に

ガリラヤ湖で7人の弟子に

特にペテロに

ガリラヤの山で11人の弟子に

500人以上に

ヤコブに

オリーブ山で

- 3 エマオ エルサレムから11キロメートル
- 4 クレオパ

イムヌエルの讃美歌118番  
「日暮れてよもは暗く」

日暮れて	四方は暗く
わがたまは	いと寂し
寄る辺なき	身の頼る
主よ	共に宿りませ

# I 道づれ

A イエスさまの側からの行動

B 意味 イエスさまが私の道連れになった  
「二人が話し合い、確かめ合っているときのこと、イエスご自身が近づいてきて、道づれになった」

C イエスさまはどのような人に

- 1 イエスさまを道づれにした
- 2 自分に失望していた

## 教会福音讃美歌430番3節

み恵みと 愛をもて 罪人の 友となり  
み翼で 守られる 主よ 共にいてください

- 3 自分が置かれている状況がわかっていなかった



## D 罪の中にいるときも

1 イエスさまは共におられる

2 わたしたちは？

## II 恵みの時代

- A 不可解な会話
- B 語り
- C 心の中にあっただもの
- D イエスさまの答え
  - 1 聖餐式をされた
  - 2 見えなくなられた

しめくくり

人生を肯定できる  
～ イエスさまが近づかれるから